

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2011年度第6回（通算第8回）理事会 議事録

1. 開催日時：2012（平成24）年3月11日（日）12：30～17：00

2. 場 所：横浜市総合リハビリテーションセンター 4階会議室

3. 審議事項および資料

第1号議案 各業務執行理事の専権事項の報告

（1）事業の協賛に関する承認について

（2）展示会出展について

第2号議案（報告） 総務統括理事からの業務執行状況の報告

第3号議案（報告） 事業統括理事からの業務執行状況の報告

第4号議案（報告） 事業連絡調整会議報告

第5号議案（報告） 統括会議報告

第6号議案（審議） 2012年1月（2月）締め決算報告

第7号議案（審議） （1）福祉機器コンテスト2011の決算について

（2）コンテスト2012の開催について

第8号議案（審議） 2012年度定時社員総会の日程

第9号議案（審議） 財務管理業務顧問契約の来年度継続契約について

第10号議案（審議） 協会誌関連の規定整備と改定

第11号議案（審議） 「リハビリテーション・エンジニアリング」次期編集委員の推薦・体制について

第12号議案（審議） 28-1（完全法人化後）からの表紙デザイン変更

第13号議案（審議） 2012年度定時社員（一部任意団体）総会資料について

第14号議案（審議） H24年度国際関係予算

第15号議案（審議） 2012年度の予算案について

第16号議案（審議） 第4回理事会第10号議案無効における経過記録の対応について

第17号議案（審議） RESJA-RESKO MOA（覚書）の文言変更について

4. 理事総数 13名

出席理事数 11名

会長（代表理事） 相良二郎

理事 飯島浩、岩崎満男、大鍋壽一、沖川悦三、金井謙介、川村慶、元田英一、
鈴木聖貴、塚田敦史、古井透

監事 井上剛伸、井村保

事務局 深野栄子

欠席理事 高原光恵、巴雅人

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

（1）定款第39条に基づき、議長となる代表理事の相良二郎が、本日の理事会は定数を満たしており有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

（2）議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の塚田敦史と飯島浩の2名を選出した。

第1号議案 各業務執行理事の専権事項の報告

議長の求めに応じて各理事より個別に説明をなし、その承認（追認）を求めた報告がされた。

(1) 事業の協賛に関する承認について（報告）

事務局統括担当の沖川理事より、会員から「日本建築学会ノーマライゼーション環境小委員会公開研究会」への協賛依頼の問い合わせがあり、新規事案のため理事会開催後の承認では間に合わないことから、電磁的手段による理事への同意の下、事務局統括理事の専権事項として協賛承認を回答したことの報告がされた。なお事務局統括理事の専権事項として、前理事会報告以降に継続依頼の後援・協賛承認したものについても報告された。

(2) 展示会出展について

事業統括担当の金井理事より、HCR2012 に関する出展申込およびバリアフリー2012 出展手続き等を、電磁的手段による理事への同意の下、事業統括理事の専権事項として行ったことの報告がされた。

バリアフリー2012（2012年4月19日(木)～21日(土)）は、出展2小間（小間番号4-1106）が確定した。

第2号議案（報告） 総務統括理事からの業務執行状況の報告

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況の報告がされた。

■ 財務（飯島理事）

- ・ 財務会計に関して、横山公認会計士事務所と当法人の会計事務との打合せと調整および顧問契約締結を行った。
- ・ 2011年7月～2012年2月までの収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表を、会計士事務所と調整しまとめた。2011年7月～2011年10月までの収支決算をまとめた。
- ・ 財務会計事務に関して、横山公認会計士事務所と来年度の顧問契約の見積額の調整を行った。

■ 理事会・総会（塚田理事）

- ・ 2012年度社員総会日程の検討を行った。
- ・ 公益法人化を想定した定款案の検討を行った。
- ・ 2012年度法人理事会開催日を決定した。
- ・ 2012年度社員/任意団体 総会資料（案）を起案し、各理事へ記述確認を要請した。
- ・ 2012年度第4回（法人）理事会第10号議案の無効に伴い、経過記録と対応策について検討した。理事間でメールでの協議を行った。

■ 総務統括（鈴木理事）

- ・ 11月12日の総務事業統括調整会議について理事会に報告した。
- ・ 総務統括（任意団体、規則・選挙）として総会資料（案）を作成した
- ・ 第27回リハ工学カンファレンスの決算書を確認し、修正した決算書の承認方法の案を提示した。

第3号議案（報告） 事業統括理事からの業務執行状況の報告

議長の求めに応じて各理事より、各業務執行理事の業務執行状況の報告がされた。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している（第1号議案参照）。

■ カンファレンス（巴理事）

- ・ 第26回リハ工学カンファレンスの、事業報告書、決算書及び監査報告書を理事会承認事項として議案提出した。

■ コンテスト（元田理事）

- ・ コンテスト2011 結果報告書の作製と配布、協会誌 Vol. 27, No. 1 への掲載を行った。
- ・ 協会誌 Vol. 27, No. 1 掲載のための協賛企業5社の原稿を提出した。

■ 協会誌担当（岩崎理事）

- ・ 協会誌 Vol. 26, No. 4 (11 月 1 日発行)、協会誌 Vol. 27, No. 1 (2 月 1 日発行) を各 1000 部印刷し、会員に送付した。
- 国際担当 (大鍋理事)
 - ・ RESJA が RESKO と MOA を締結した旨を、協会誌 Vol.27, No. 1 にて報告した (詳細は Vol. 27 No. 2 で報告)。
 - ・ 協会誌 Vol. 27, No. 1 にて i-CREATe 2012 の開催を案内した。
 - ・ 3 月 2 日開催の CSUN Conference の Concentration Meeting にて、RESJA の国際的活動状況の説明を、井上監事に依頼した。
- その他 (金井理事)
 - ・ 各事業の年間スケジュール一覧にまとめ ML にて提示した。
 - ・ 展示会出展に関する事業計画および予算要求の作成を行った。

第 4 号議案 (報告) 事業連絡調整会議報告

事業統括担当の金井理事より、3 月 10 日に行った事業連絡調整会議の報告がされた。

(出席者: 相良会長、金井事業統括理事、川村企画担当理事、元田コンテスト担当理事 (オブザーバー)、沖川事務局統括理事、鈴木総務統括理事)

- ・ 次年度事業計画および予算要求について調整した。
- ・ カンファレンス実行委員会よりコンテスト協賛企業優遇措置について意見があがっていたが、今後、各事業担当より考えられる優遇要望をあげ、調整する。
- ・ 展示会用の展示パネルを更新 (作成) し、出展効果を高める。
- ・ 福祉機器コンテスト 2012 選考委員候補について検討した。

第 5 号議案 (報告) 統括会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、3 月 10 日に行った統括会議の報告がされた。

(出席者: 相良会長、沖川事務局統括理事、鈴木総務統括理事、金井事業統括理事、飯島財務担当理事、深野事務局長)

- ・ 法人化に伴う代議員制度について話し合われた。
- ・ 公益社団法人としての定款案および倫理規定案の検討を行った。
- ・ 法人統合に向けての今後のスケジュール案の検討を行った。その結果、検討する内容量が多いため、5 月に統括会議を設けることとなった。
- ・ 定款変更を伴う総会議事録の署名について、当協会事務局が法務局に確認する。
- ・ 現法人においては、総社員の過半数が定時社員総会に出席し、かつ総社員の 2/3 の承認が必要である。
- ・ 任意団体の会則上、解散は (任意団体) 総会出席者の 2/3 以上の承認が必要である。会員にとっての不利益は特に生じず、任意団体から法人への完全移行であることを説明する。
- ・ 2012 年度予算案についての報告がされた。

第 6 号議案 (審議) 2012 年 2 月締め決算報告

財務担当の飯島理事より、2011 年度予算執行状況について、2 月締めの総合決算、会計士事務所作成の収支計算書、正味財産増減額計算書、貸借対照表、伝票チェックリスト (いずれも法に基づいた会計書類) の提示とともに予算執行状況と今後の収支見通しについて説明がなされた。年度末の決算報告確定に向け、継続審議とされた。

第 7 号議案 (審議)

(1) 福祉機器コンテスト 2011 の決算について

コンテスト担当の元田理事より、コンテスト 2011 決算報告についての決算書の提示、また監事より

監査報告がなされ、満場一致で承認された。

(2) コンテスト2012の開催について

コンテスト2012実施計画、コンテスト2012予算について資料が提示された。選考委員については継続2名と調整中の候補者4名を他理事へ電磁的手段により報告した上で、最終確定は担当理事専権事項とすることが満場一致で承認された。

第8号議案（審議） 2012年度定時社員総会の日程

総会・理事会担当の塚田理事より、2012年度定時社員総会の候補日時（2012年8月23日（木）11:15—12:15 アクロス福岡）が提示され、満場一致で承認された。

第9号議案（審議） 財務管理業務顧問契約の来年度継続契約について

財務担当の飯島理事より、2011年度後半に財務管理業務の確認と助言、及び実質的な会計業務について顧問契約を実施し、法的対応や経理処理実務不明点の確認対応、実際の財務事務書類の作成まで実施していただき大変有効であった。この実績から、一般社団法人として適切な財務管理業務を実施する上で2012年度も継続して横山公認会計士事務所との顧問契約を締結することについて提案がなされ、満場一致で承認された。

第10号議案（審議） 協会誌関連の規定整備と改定

協会誌担当の岩崎理事より、公益法人化に向けた協会誌細則・投稿論文細則等の構築の検討（現行は任意団体の協会誌細則であり、将来の公益法人化を視野に入れた協会誌細則・投稿論文細則等の整備検討を行う）ことについて提案がなされた。投稿規程と査読規程に関しては内容をさらに精査し、次年度中に理事会承認を受けられるように作業を進め、内規に関しては何か意見等あれば担当理事に伝えてもらうこととして、今回審議を取り下げ問題提起とした。

第11号議案（審議） 「リハビリテーション・エンジニアリング」次期編集委員の推薦・体制について

協会誌担当の岩崎理事より、次期編集委員候補と編集委員会体制の変更について提案がされた。

(1) 次期編集委員候補者4名について満場一致で承認された。

(2) 編集委員会体制については、編集委員経験のある後任の編集委員長が決まるまで、現編集委員長が職務を遂行することとし継続審議とされた。

第12号議案（審議） 28-1（完全法人化後）からの表紙デザイン変更

協会誌担当の岩崎理事より、表紙絵を継続するかどうか将来的な協会誌電子化の可能性も踏まえ編集委員会で検討したことが報告された。その結果、ここ数年の特集内容の充実による目次の文字の小ささを改善することも考慮し、表紙絵を廃止（表紙絵コンテストは実施しない）することに決定し、今後の表紙デザイン変更計画遂行案について説明がなされた。今後の表紙デザインのあり方については継続審議となった。

第13号議案（審議） 2012年度定時社員（一部任意団体）総会資料について

総会・理事会担当の塚田理事より、2012年度定時社員（一部任意団体）総会資料作成に伴い、2011年度事業経過報告及び2012年度事業計画を2012年6月22日（金）までに提出することが、依頼され確認された。

第14号議案（審議） H24年度国際関係予算

国際担当の大鍋理事より、国際関係報告がされたが、本件は予算要求にあたるので、審議事項からはずし現状報告となった。

第15号議案（審議） 2012年度の予算案について

- ・ 財務担当の飯島理事より、総合予算書、各理事より提出の 2012 年度の事業計画に基づく予算概算要求書提示の上説明がなされた。すべての概算要求を盛り込んだ状態の段階であるため、赤字の状態となっている。赤字解消を目的に会費値上げをして間もないので、赤字決算にはできない。事業に対する優先順位を見直す時期にきており、6 月末の予算案確定に向け継続審議となった。

第 16 号議案（審議） 第 4 回理事会第 10 号議案無効における経過記録の対応について

総会・理事会担当の塚田理事より、第 4 回理事会第 10 号議案無効における経過記録について、文書案が提示され、明文化の是非、書き方、対応策、経過事項の不備不足点等についての内容を協議した。文書名は“経過記録書”とし、修正・意見等あれば担当理事に伝え完成させることとし、継続審議とされた。

第 17 号議案（審議） RESJA-RESKO MOA（覚書）の文言変更について

国際担当の大鍋理事より、RESKO と結んだ MOA（覚書）文言の一部修正と変更について説明がなされ、遡って、覚書を作成し直すことが満場一致で承認された。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2011（平成 23）年度第 6 回（通算第 8 回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（17 時 00 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2012 年 3 月 11 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成 23 年度第 6 回理事会

議 長

相良 二郎



議事録署名人

塚田 敦史



議事録署名人

飯島 浩

